

「都市計画マスタープラン」

市町村の都市計画に関する基本的な方針（都市計画法第18条の2）

横浜市都市計画 マスタープラン

全体構想

地域別構想

区プラン

地区プラン

全体構想（平成24年度改定）

横浜市の市域全体について、都市計画の基本的な方向を示す

地域別構想

区プラン（令和元年度までに順次改定）

市民に近い行政単位である区の将来像等を示すとともに、市民との協働でまちづくりを進めていくうえでの基本的方針を示す

地区プラン

具体的なまちづくりを進めるに当たり、より詳細な都市計画の方針を示す必要がある地区において、地区の実状に応じて定める

■ 鶴見区プラン改定の進め方

3

H28・29年度

H30年度

R元年度

改定の方針を作成

現行の鶴見区プランに対する意見募集

現況の
分析・検証

改定素案の作成

改定素案公表

横浜市都市計画審議会へ報告

説明会

11/13
～11/18

改定原案の作成

改定原案公表・意見募集

121通・739件

改定案の作成

横浜市都市計画審議会へ付議

改定鶴見区プラン告示

本日

11/1～12/14
改定素案意見募集

• 横浜市の最東端に位置

• 区域面積
約32.38 平方キロメートル
(横浜市域の約7.4%)

• 総人口 約28.5万人
(横浜市総人口の約7.7%)

※平成27年国勢調査



■ 鶴見区の地勢



- 1 **多文化共生や観光客の受入れ環境など、近年関心が高まっている課題に関する方針を充実**
- 2 **土地利用の転換に伴う人口の変化など、様々な視点からの分析結果を踏まえ、方針を充実**

■まちづくりの成果（主なもの）



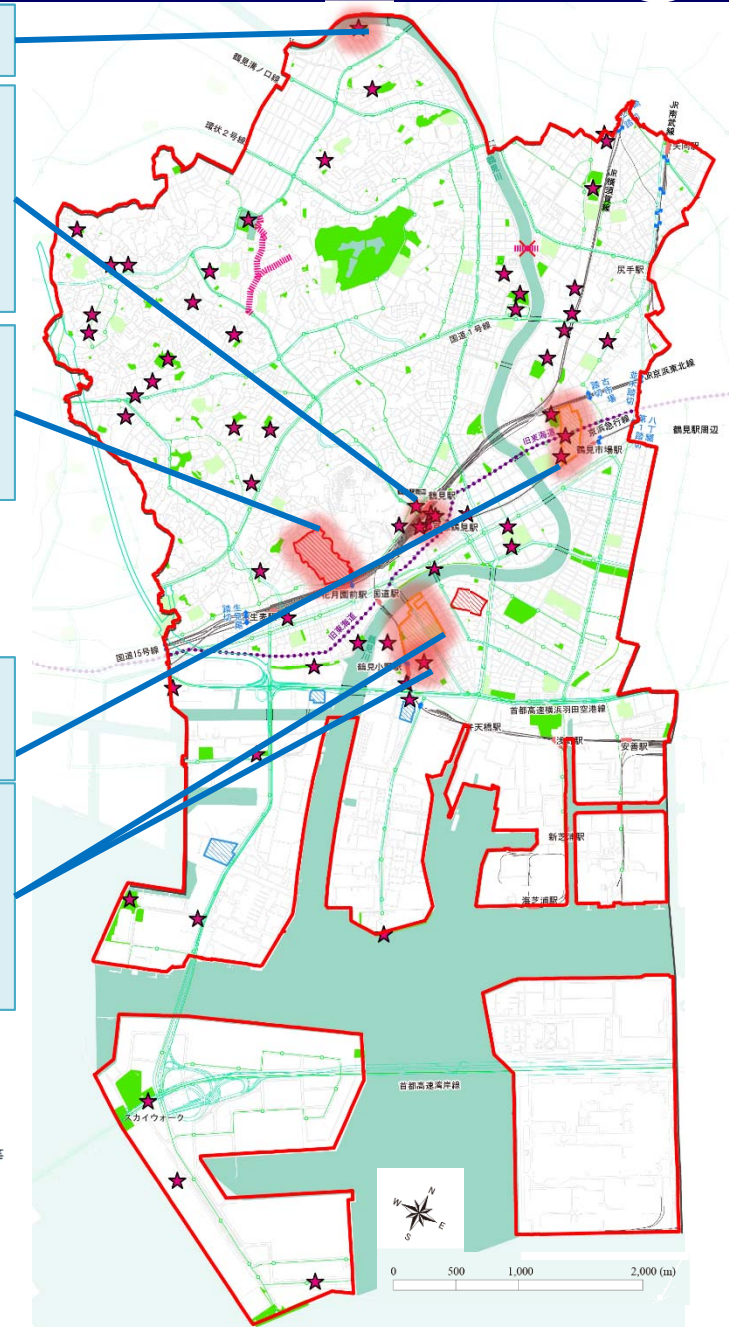
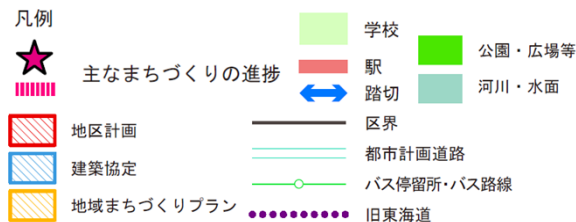
③駒岡防災船着場(大曲広場)整備

- ①鶴見駅東口地区
 第一種市街地再開発事業完了
 ・鶴見駅東口駅前広場整備完了
 ・鶴見国際交流ラウンジ開館

- ②鶴見一丁目地区地区計画
 都市計画決定
 (花月園競輪場跡地)

- ・市場西中町地域まちづくり
 プラン変更認定

- ④旧鶴見工業高校跡地公募売却、
 下野谷町三丁目公園整備
 ・下野谷1・2丁目
 地域まちづくりプラン認定



まちづくりの成果（主なもの）



③ 駒岡防災船着場(大曲広場)整備

- ① 鶴見駅東口地区
第一種市街地再開発事業完了
- ・ 鶴見駅東口駅前広場整備完了
- ・ 鶴見国際交流ラウンジ開館

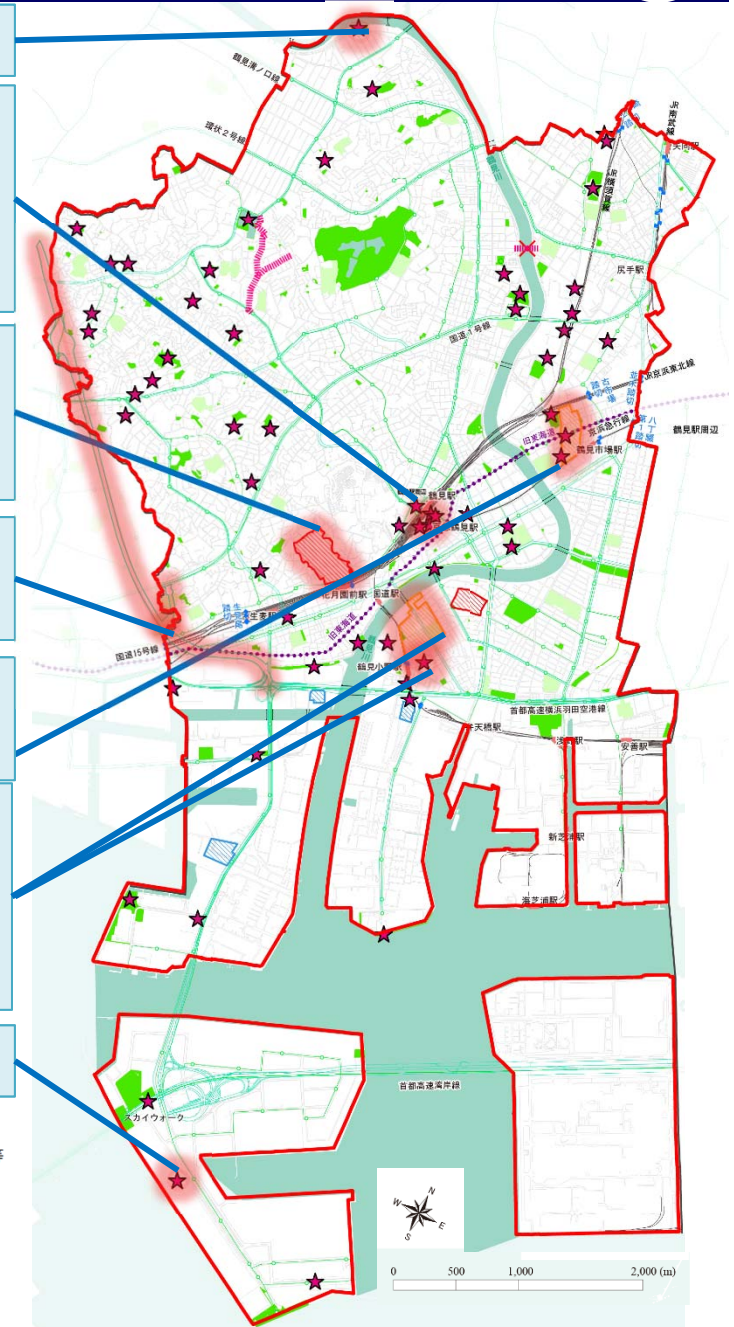
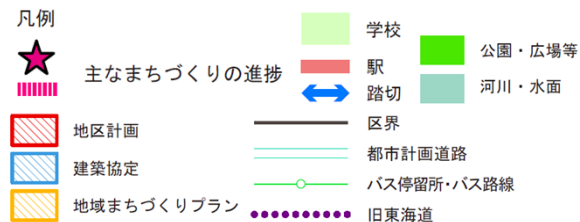
- ② 鶴見一丁目地区地区計画
都市計画決定
(花月園競輪場跡地)

- ⑤ 高速横浜環状北線、
岸谷生麦線開通

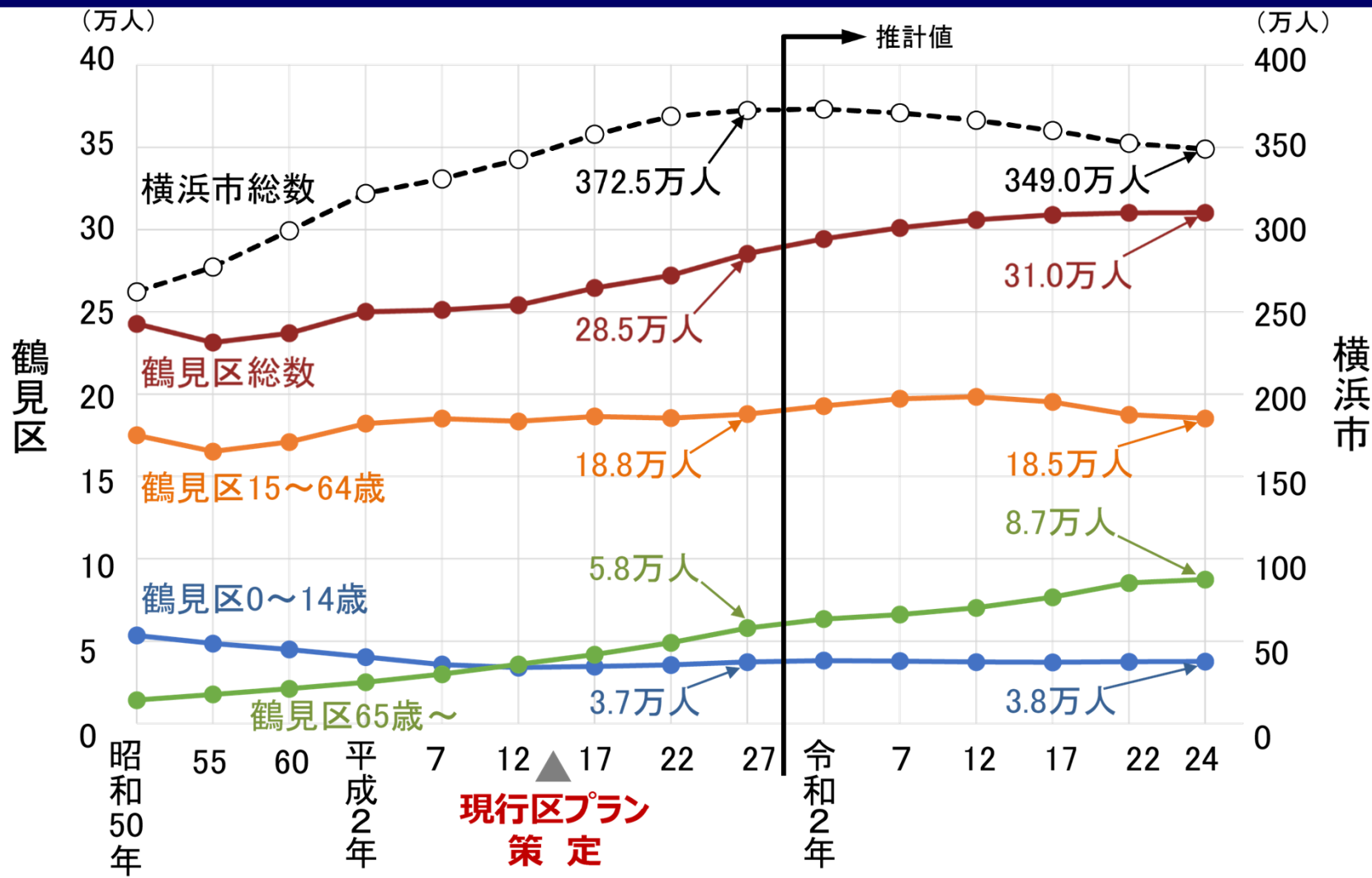
- ・ 市場西中町地域まちづくり
プラン変更認定

- ④ 旧鶴見工業高校跡地公募売却、
下野谷町三丁目公園整備
- ・ 下野谷1・2丁目
地域まちづくりプラン認定

⑥ 大黒ふ頭客船ターミナル整備

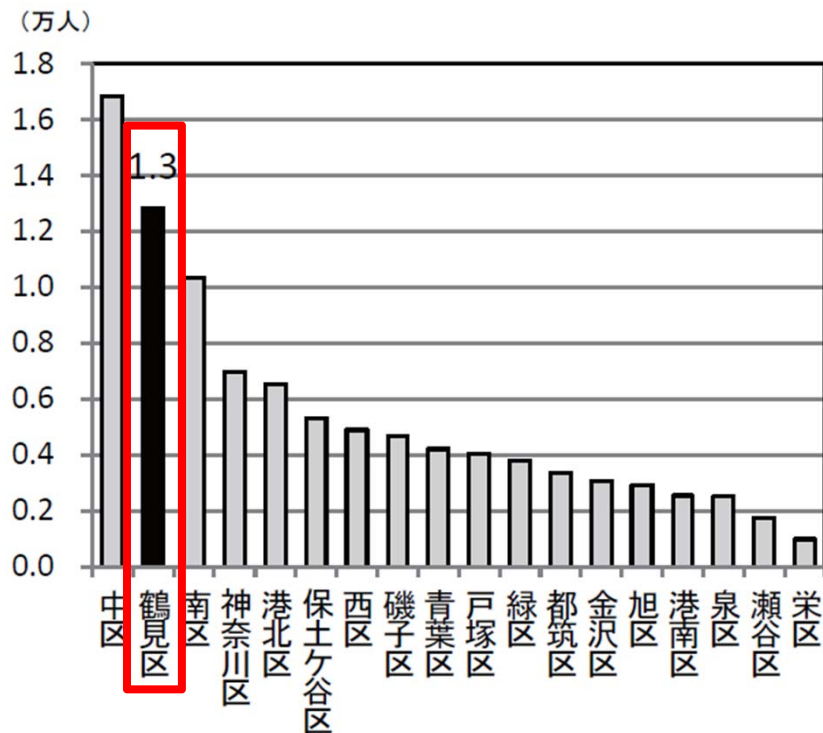


区の現況（人口の推移）

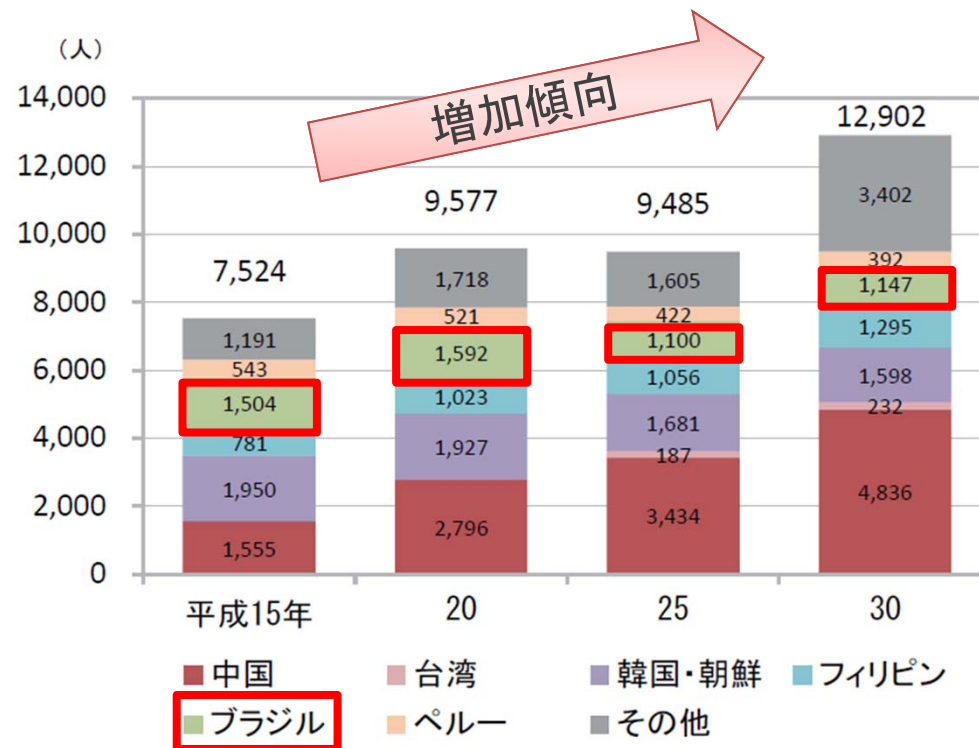


- ・人口は市全体と異なり増加傾向 → 令和24年にピーク
- ・年少人口・生産年齢人口は横ばい、老年人口が増加

各区の外国人人口



区内の国籍別外国人人口



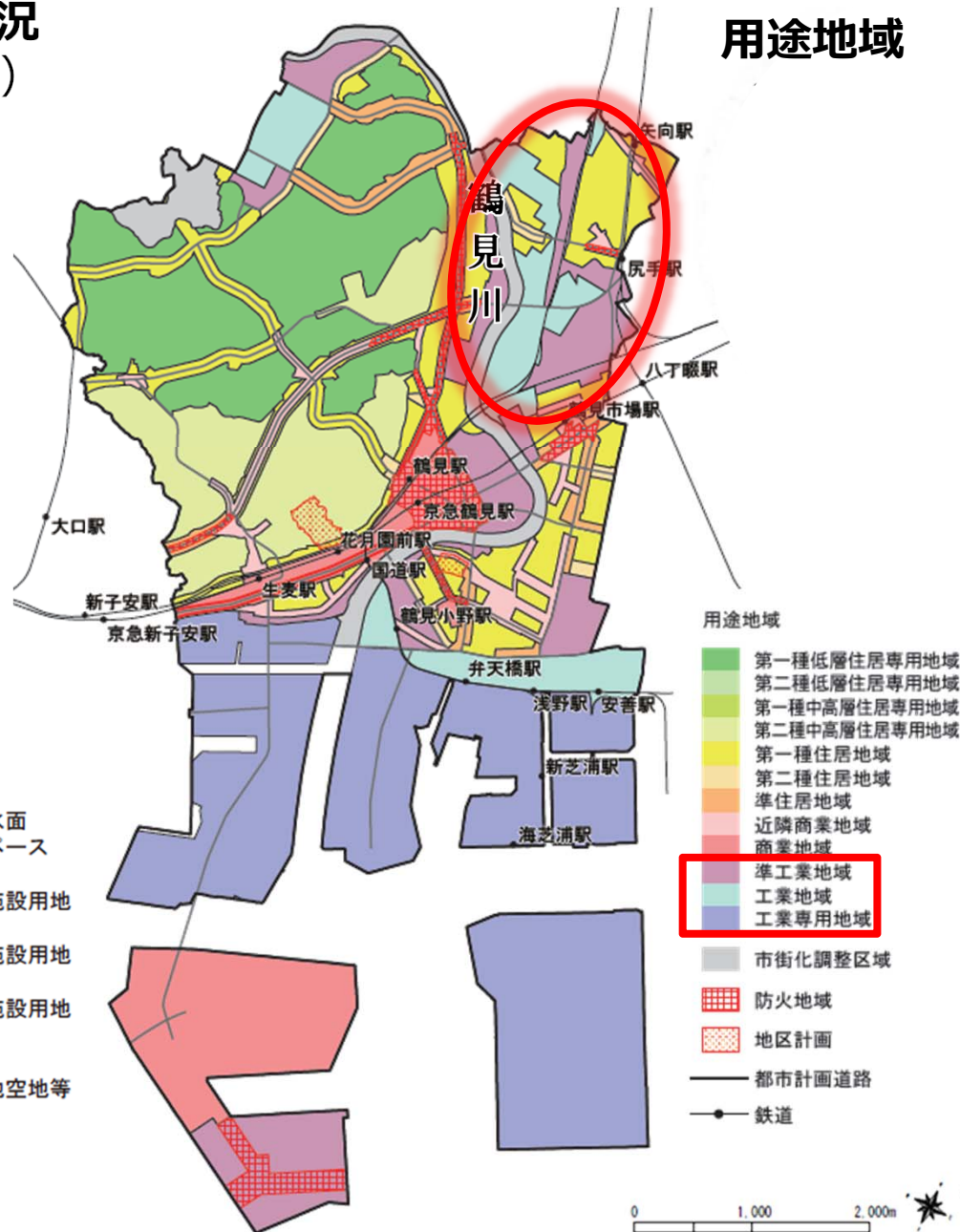
- ・中区に次ぐ2番目の外国人人口の多さ
- ・外国人人口は増加傾向

土地利用現況 (平成25年)

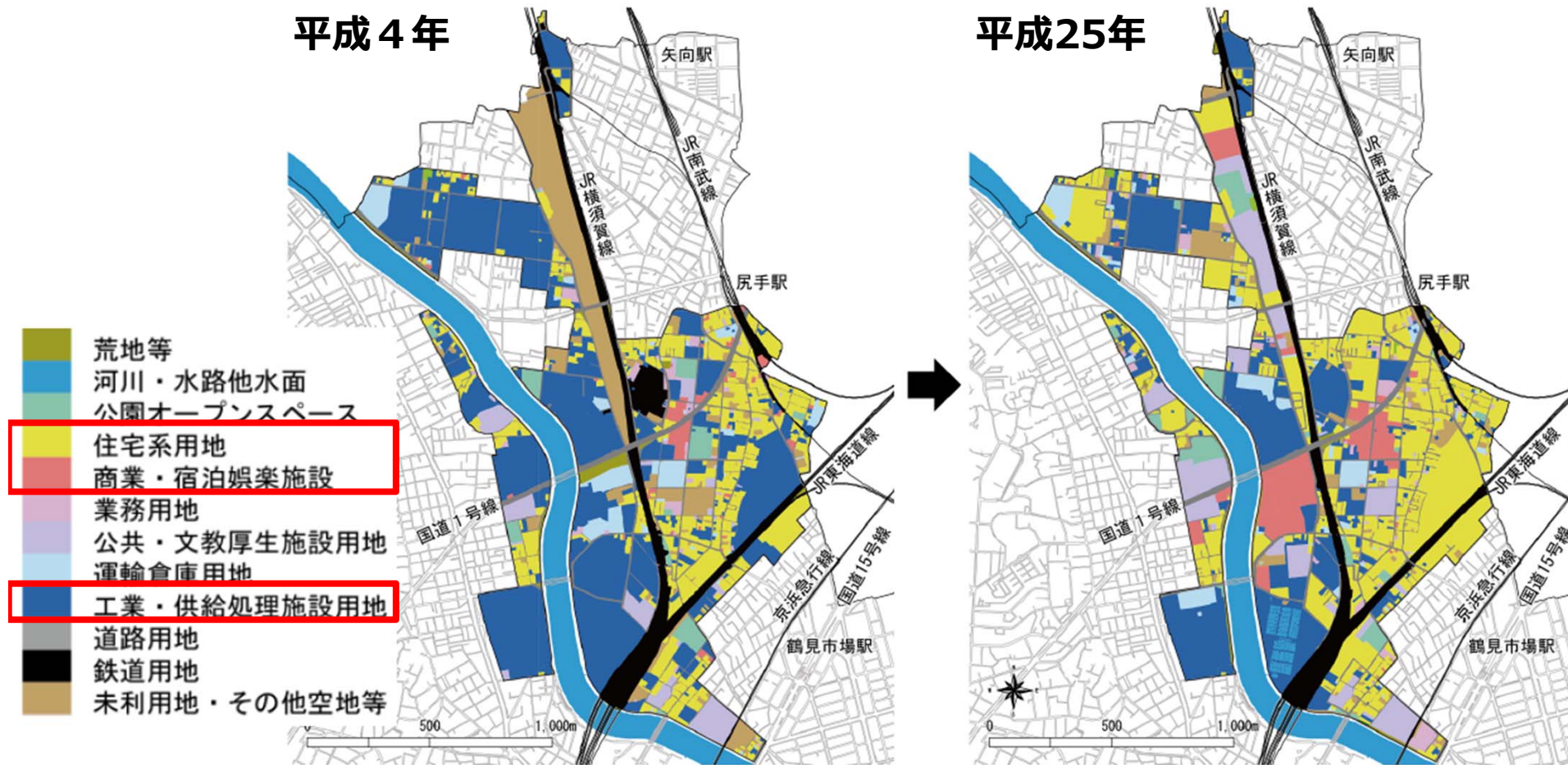


- 山林
- 農業系用地
- 荒地等
- 河川・水路ほか水面
- 公園オープンスペース
- 住宅系用地
- 商業・宿泊娯楽施設用地
- 業務用地
- 公共・文教厚生施設用地
- 運輸倉庫用地
- 工業・供給処理施設用地
- 道路用地
- 鉄道用地
- 未利用地・その他空地等

用途地域



- 用途地域
- 第一種低層住居専用地域
 - 第二種低層住居専用地域
 - 第一種中高層住居専用地域
 - 第二種中高層住居専用地域
 - 第一種住居地域
 - 第二種住居地域
 - 準住居地域
 - 近隣商業地域
 - 商業地域
 - 準工業地域
 - 工業地域
 - 工業専用地域
 - 市街化調整区域
 - 防火地域
 - 地区計画
 - 都市計画道路
 - 鉄道



出典：平成4年・平成25年横浜市都市計画基礎調査データ(建築局)を基に作成。

- ・北東部の工業地域、準工業地域で工業系の土地利用が住宅・商業系の土地利用に変化

各拠点への所要時間



・羽田空港をはじめ、各拠点へのアクセスが良好

観光客の誘致や
国際ビジネスの拠点としての
機能強化の可能性

活力があり 安心して住める 水辺があるまち



【主な都市構造】

「丘のまち」「川のまち」「海のまち」
3つの地域の特徴を生かした
まちの環境形成

「駅周辺の主要な生活拠点」
鶴見駅周辺地区の機能整備

「鶴見川環境軸」
鶴見川に沿った環境軸の機能強化

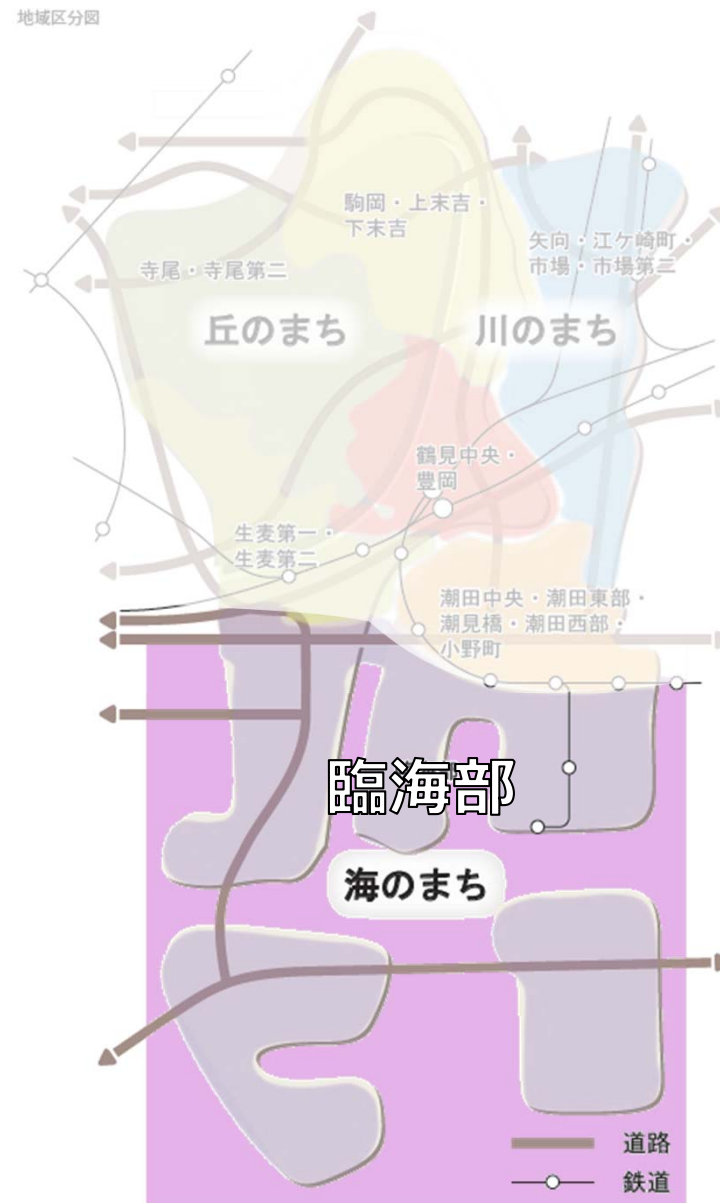
「鶴見・末広軸、生麦・大黒軸」
区の間と海のまちを結ぶ
軸として整備

4章 テーマ別の方針



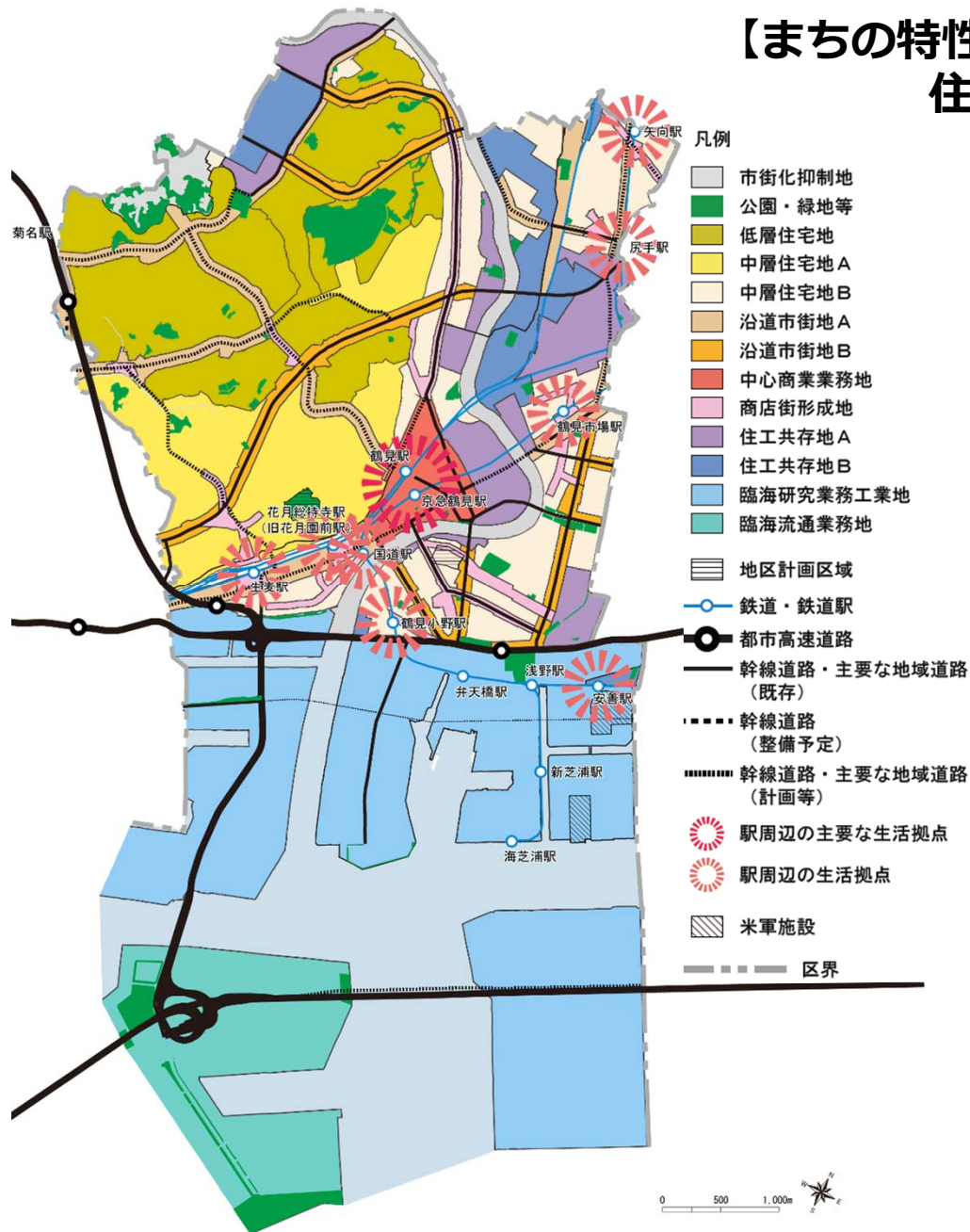
 : 今回説明する方針

5章 地域別の方針



■土地利用の方針

【まちの特性を生かし
住環境と商業工業が共存するまちづくり】



拡充 内陸部の工業地域

- 基本的に操業環境を維持
- 住宅開発が行われる場合は、待機児童対策や児童生徒の急増対策などを検討（住工共存地A）
- 土地利用転換の場合は周辺環境と調和するよう再整備を誘導（住工共存地B）

住宅地域

- 住環境の維持・向上
- 水と緑の環境の保全、充実
- 災害への強化

都市交通の方針



【安全・快適に移動できる交通基盤づくり】

拡充 道路網の整備の推進

- 踏切の安全対策
- 鶴見川の橋りょうの整備

拡充 鉄道・バスをはじめとする公共交通網の充実

- 鶴見駅の利便性向上
- 鶴見線の利便性向上
- 東海道貨物支線の貨客併用化
- バスや地域特性に合わせた交通サービスの充実
- 横浜環状鉄道の整備

■都市の魅力の方針

【歴史・景観・文化を生かした魅力づくり】

拡充

区の個性を生かした魅力づくり

- ・ 歴史資源を生かした魅力づくりの推進
- ・ 海からの眺めをいかした水上交通の観光利用
- ・ 京浜臨海部でインダストリアルエンターテインメントの機能を備えた地域形成



みその公園「横溝屋敷」



東京ストロベリーパーク

拡充

多様な地域コミュニティの交流を
生み出す環境の充実

- ・ 多文化共生のまちづくり
- ・ 鶴見国際交流ラウンジの機能強化
— 在住外国人の生活支援、
学習支援及び国際交流の拠点
— 訪日外国人旅行者等への対応



鶴見ウチナー祭



鶴見ウチナー祭・サンバの様子

目標1 新たな産業空間としての再整備を進める

- 研究開発機能の集積
- エリアマネジメント体制による公民連携の取り組み
- 通勤環境の改善

目標2 区民・事業者に開かれた地域としての活用を図る

- 区民と交流する開かれた企業活動の促進
- 大型客船の受け入れ環境の充実、旅客の滞在環境整備

目標3 海に開かれた臨海地域の資質を生かし、地域のイメージアップを図る

- インダストリアルエンターテイメントの機能を備えた地域の形成



臨海部の様子



鶴見線 海芝浦駅



大黒ふ頭客船ターミナル

【役割分担と協働によるまちづくりの推進】

まちづくりへ参加し提案
自立したまちづくりを展開

区民

自治会・町内会
地域活動団体
NPO等

社会的責任を果たしながら
地域とともに発展する事業を実施

事業者

行政

横浜市・県等
区民利用施設
学校

民間事業の規制や誘導
区民や事業者の活動支援
関係組織相互の調整
公共事業の実施